

木材価格市況標準相場

令和6年1月9日

東京木材問屋協同組合
価格市況調査委員会

○今月の価格動向

(1) 値上げ品目	3
木 曾 桧	1
北洋材・北欧材	2
(2) 値下げ品目	3
合 板	3

○今月の市況動向

例年は、年末に向けてトラック不足などの影響があり苦勞する事が多いが、昨年12月の荷動きは悪く、静かな年末との内容が多く聞かれた。

(国産材) 木曾桧の幅36cm上が、品薄状態と需要増加の為、値上がりとなった。他の国産役物においても、円安の関係で国産材活用に期待したいとの報告であった。

(輸入材) 米松構造材の樹種変更が進み、メーカーの出荷制限が緩和された。北洋材では市場在庫が大きく減少して値戻しの動きが出ているとのこと。ヨーロッパ材では、親イラン武装組織の攻撃により、コンテナ船が紅海を避けて喜望峰を回る航路になると、運賃の大幅な値上げとなる。価格への影響と入荷の遅延が心配との報告であった。

(合板) 国内針葉樹合板では、当用買いの状態が続いており値を下げたが、極端な価格も聞かれなくなった。輸入合板では、アイテムによっては在庫が少ないが、市場に不足感は無いらしいとのこと。価格についても、円安分のコスト転嫁が遅れている。